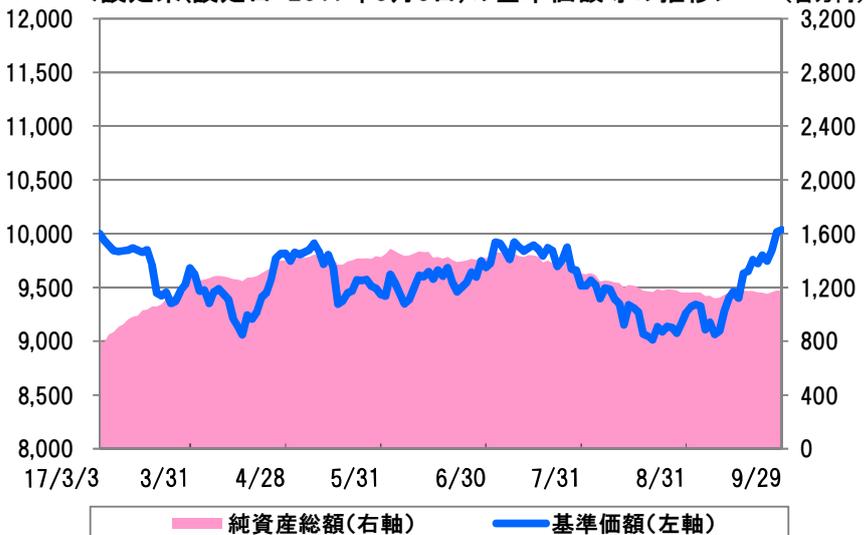


**2017年9月29日基準**

(円) &lt;設定来(設定日:2017年3月3日)の基準価額等の推移&gt;



※基準価額は信託報酬控除後のものです。

基準価額	10,035円	純資産総額	1,174百万円
前月末比	+771円		

**組入資産の状況(単位:百万円)**

ファンド	金額	組入比率
米国中小型割安株・マザーファンド	1,148	97.7%
現金等	26	2.3%
合計	1,174	100.0%

マザーファンド	金額	組入比率
外国株式	1,102	96.0%
現金等	46	4.0%
合計	1,148	100.0%

 ※組入比率は本ファンドの純資産総額に対する比率です。  
 ※未払金等の発生により現金等の数値がマイナスになることがあります。

**期間別騰落率の推移**

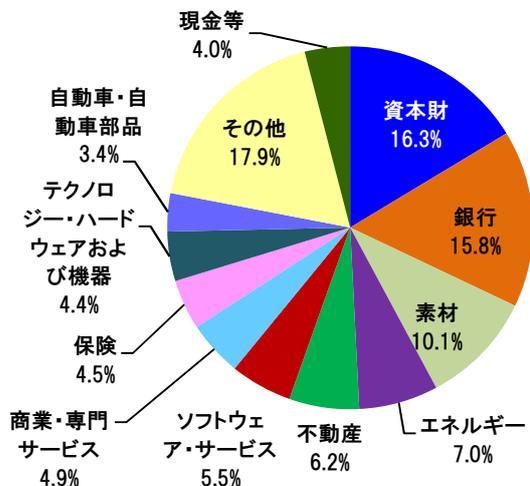
設定来	直近1カ月	直近3カ月	直近6カ月	直近1年	直近3年	直近5年
0.35%	8.32%	3.59%	3.68%	-	-	-

※騰落率は、税引前分配金を再投資したものととして算出した分配金再投資基準価額により計算しています。

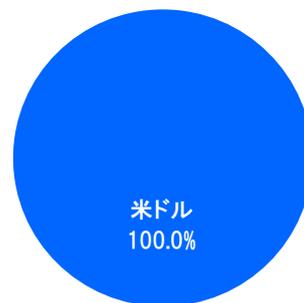
**収益分配金(税引前)の推移**

決算日	分配金	設定来累計
-	-	-
-	-	-
-	-	-
-	-	-
-	-	-
-	-	-

※収益分配金は1万口当たりです。(初回決算は2018年3月5日です。)

**運用資産の状況 (本ファンドは、ファミリーファンド方式で運用を行っているため、マザーファンドの運用状況を表示しています。)**
**業種別構成比**


※比率はマザーファンドの純資産総額に対する割合です。

**通貨別構成比**


※比率はマザーファンドの株式評価額合計に対する割合です。

**<ご参考> 当月末の為替**

通貨	レート	前月末比
米ドル	112.7円	2.09%

※為替レートは、一般社団法人投資信託協会が発表する対顧客電信売買相場仲値を採用しています。

○ 当資料は、SBIアセットマネジメント株式会社が信頼できると判断したデータに基づき作成されておりますが、その正確性、完全性について保証するものではありません。また、将来予告なく変更されることがあります。○ 当資料中のグラフ、数値等は作成時点のものであり、将来の傾向、数値等を予測するものではありません。○ 投資信託は値動きのある証券に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元本保証はありません。○ 投資信託の運用による損益はすべて受益者の皆様に帰属します。○ ご購入の際には必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認の上、お客様ご自身でご判断ください。

2017年9月29日基準

**組入銘柄紹介**

	銘柄名	業種	比率	事業内容
1	ORBITAL ATK INC オービタルATK	資本財	1.42%	航空宇宙、軍事技術が主要事業。航空機や打ち上げロケットならびにその推進装置、精密誘導兵器、防衛用電子システム等の製造を手掛ける。
2	MKS INSTRUMENTS INC MKSインスツルメンツ	半導体・半導体製造装置	1.36%	半導体デバイス等の製造プロセスにおけるパラメーターの測定・制御・分析を行う機器を製造・販売する企業。光学フィルタ、医療機器等の幅広い分野にわたる製品も手掛ける。
3	THOR INDUSTRIES INC ソーア・インダストリーズ	自動車・自動車部品	1.32%	米国およびカナダで事業を展開し、様々なレジャー用自動車の製造・販売に従事する企業。モーターホーム、キャンピングカー、フィフスホイール、旅行用トレーラー等も手掛ける。
4	KORN/FERRY INTERNATIONAL コーン・フェリー・インターナショナル	商業・専門サービス	1.30%	世界中でグローバル人材管理事業を展開。エグゼクティブ・リクルーティングを中心に、リーダーシップ開発、企業内教育等も手掛ける。
5	ITT ITT	資本財	1.27%	エネルギー産業、輸送産業、工業用産業で重要箇所の部品やカスタマイズした部品の製造、販売を手掛ける。
6	MONMOUTH REAL ESTATE INVESTMENT マンモス・リアル・エステート・インベストメント	不動産	1.27%	賃料、税金、修繕費用を賃借側が負担するネットリース工業用不動産専門の不動産投資信託会社。主要な空港、輸送拠点、製造工場の近くなどの不動産獲得に注力。
7	OLD NATIONAL BANCORP オールド・ナショナル・バンコープ	銀行	1.26%	180年以上の歴史を持つ銀行持ち株会社。インディアナ州、ケンタッキー州、ミシガン州、ウィスコンシン州で事業を展開。
8	WABASH NATIONAL ワバシュ・ナショナル	資本財	1.26%	1985年創業のトレーラーメーカー。トレーラーの設計、製造、販売を手掛け、北米で事業を展開。
9	VERSUM MATERIALS バースーム・マテリアルズ	半導体・半導体製造装置	1.25%	2016年10月にエアロ・プロダクツ・アンド・ケミカルズから分離した、半導体業界向けに材料を提供する大手企業。
10	CONVERGYS コンバージス	ソフトウェア・サービス	1.24%	オハイオ州を拠点とする顧客管理専門企業。世界30カ国以上に150を超える拠点を擁し、グローバルに事業を展開。
組入銘柄数			98銘柄	

※上記の「組入銘柄紹介」は本ファンドのご理解を深めていただくために作成したものであり、個別銘柄への投資を推奨するものではありません。

※上記の内容は基準日現在のものであり、将来予告なく変更する場合があります。

**当月の市況動向**

当月の米株式市場は穏やかな上昇となりました。ハリケーン・イルマの被害が多く投資家が恐れていたよりも深刻ではないことが明らかになり、投資家心理が改善したことなどがプラス要因となりました。

また、トランプ大統領が短期的な債務限度額の上限引き上げについて民主党と合意に至ったというニュースも、政府機関閉鎖に対する懸念を後退させました。

これは政府が税制改革についてより詳細な計画を発表したことを、投資家らが好感したことによるものです。特に小型株の株価は、その利ざやの大きさから、この報道によって大型株の株価上昇率を上回るプラスリターンとなりました。米連邦準備制度理事会(FRB)は政策金利の水準を維持したものの、2017年に少なくとも1回、2018年に3回の利上げを実施するという予想を維持しました。

FRBは10月より金融緩和策によって積み重なった資産の保有額縮小を開始すると見られています。また、12月にFRBが利上げを実施するかどうかについては、FRB議長のイエレン氏が米国の中央銀行は金融政策の緊縮化に向けて「穏やか過ぎる政策調整にも慎重になるべき」と発言したことで、その可能性が大きく高まりました。

上記のコメントは本ファンドのマザーファンドにおいて実質的な運用を行っているアライアンス・グローバル・インベスターズからのコメントです。コメントに記載のある企業は、ファンドのコンセプトをご理解いただくためのものであり、個別企業の推奨をする目的ではありません。

○ 当資料は、SBIアセットマネジメント株式会社が信頼できると判断したデータに基づき作成されておりますが、その正確性、完全性について保証するものではありません。また、将来予告なく変更されることがあります。○ 当資料中のグラフ、数値等は作成時点のものであり、将来の傾向、数値等を予測するものではありません。○ 投資信託は値動きのある証券に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元本保証はありません。○ 投資信託の運用による損益はすべて受益者の皆様に帰属します。○ ご購入の際には必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認の上、お客様ご自身でご判断ください。

2017年9月29日基準

## ファンドの運用状況

航空宇宙・軍事技術を主要事業とするオービタルATKは、米防衛大手のノースロップ・グラマンが同社の買収額を78億ドルへと修正し、合意したことなどから上昇しました。

また、同社経営陣は第2四半期の売上高と利益を発表し、その内容も事前予想を上回る水準となりました。ノースロップによる買収は、規制当局や株主の承認を必要とすることになるものの、2018年の上半期には完了するものとみられています。

人材管理事業を手掛けるコーン・フェリー・インターナショナルは、発表された第1四半期の売上高が事前予想を上回ったことなどから上昇しました。同社は新規事業活動を発表し、同社の採用プロセスのアウトソーシングを担う部門は2四半期連続での2桁成長を達成しています。

天然ガスのパイプラインなどを手掛けるコーン・ミッドストリーム・パートナーズは、産業全体に対する見方などから下落し、マイナス要因となりました。

当月は不動産関連銘柄が総じて軟調に推移し、データセンターの不動産投資信託のサイラウワンも下落しました。FRBが12月に利上げを実施するとの見方が広がったことなどから、債券代替とされるような業種は下落しました。

当月は1銘柄を新規で購入し、その一方で6銘柄を全売却しました。

最大の売却銘柄は、地方銀行のプロスペリティ・バンクシェアズでした。ファンダメンタルズの観点から魅力度が低下したと判断して全売却し、ファースト・ホライズン・ナショナルへと乗り換えました。プロスペリティ・バンクシェアズは、ヒューストン、テキサスを拠点としており、ハリケーン、ハービーにより事業悪化や分断の可能性があるかと判断しました。

ファースト・ホライズン・ナショナルについては、その株価は歴史的に魅力的な水準にあると判断し、当月に新規で購入しました。

## 今後の見通しと運用方針

投資家らはバリュー株がグロース株にアンダーパフォームする最も長い期間をじかに体験することとなりました。グロース株対比でバリュー株の株価が下落していることについて、それ自体が1990年代のITバブルの時期ほど深刻なものではないものの、10年間に及ぶグロース株対比でのバリュー株の劣後は1世紀ぶりの期間の長さとなっています。

バリュー株の株価が長期的に冴えない状況はFRBの金融緩和政策と同時に発生しました。このことから、我々は金融緩和が出口に向かうことは、平均回帰の材料になる可能性があると考えています。欧州での金利上昇もまた、バリュー株にとって転換点になる可能性があるかとみえています。

ファンダメンタルを重視し、ボトムアップアプローチを活用する運用者として、私どもはクオリティーの高い銘柄、安定的なキャッシュフローを背景に配当の支払いを実施している銘柄、株価水準が絶対値でも相対値でも魅力的な銘柄に投資することは、優れた下振れ抑制効果をもたらし、投資家の皆様に長期的に一定の成果をご提供できるようになると考えております。

上記のコメントは本ファンドのマザーファンドにおいて実質的な運用を行っているアリアンツ・グローバル・インベスターズからのコメントです。  
コメントに記載のある企業は、ファンドのコンセプトをご理解いただくためのものであり、個別企業の推奨をする目的ではありません。

○ 当資料は、SBIアセットマネジメント株式会社が信頼できると判断したデータに基づき作成されておりますが、その正確性、完全性について保証するものではありません。また、将来予告なく変更されることがあります。○ 当資料中のグラフ、数値等は作成時点のものであり、将来の傾向、数値等を予測するものではありません。○ 投資信託は値動きのある証券に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元本保証はありません。○ 投資信託の運用による損益はすべて受益者の皆様に帰属します。○ ご購入の際には必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認の上、お客様ご自身でご判断ください。

**ファンドの特色**
**ファンドの目的**

この投資信託（以下「本ファンド」という場合があります。）は、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。

**ファンドの特色**


**1 米国中小型割安株・マザーファンド（以下「マザーファンド」といいます。）受益証券への投資を通じて、実質的に以下のような運用を行い、信託財産の中長期的な成長を目指します。**

- 原則として、米国の金融商品取引所に上場する中小型株式\*の中から、高配当かつバリュエーションが割安と判断される企業の株式等に投資します。  
※ 普通株式の他、優先出資証券、新株予約権付社債、上場不動産投資信託（REIT）、米国預託証券（ADR）等にも投資することがあります。
- ポートフォリオ構築にあたっては、配当利回り、バリュエーション、モメンタム、流動性等の分析・評価を行い、利益や配当の質、財務体質やキャッシュフローにも着目し、原則として約100銘柄程度に分散投資します。



**2 マザーファンド受益証券の組入比率は、原則として高位を保ちます。**



**3 外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行いません。**



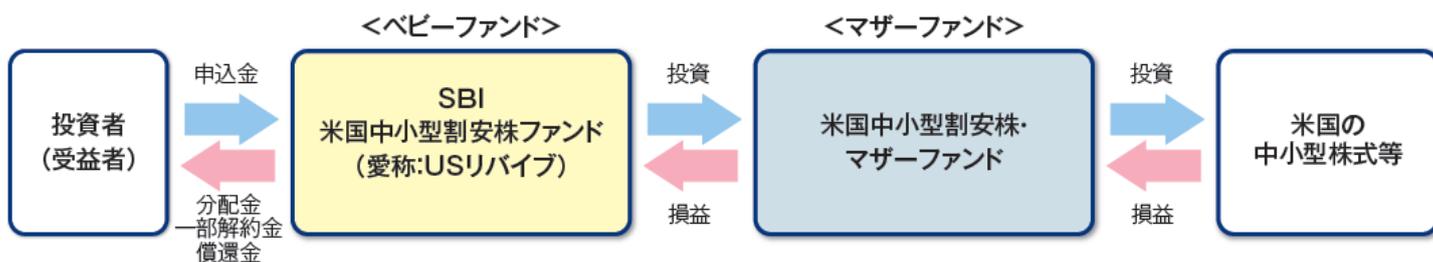
**4 アリアンツ・グローバル・インベスターズU.S.LLC傘下のNFJインベストメント・グループLLCが実質的な運用を行います。**

- マザーファンドの運用にあたっては、NFJインベストメント・グループLLCに運用の指図に関する権限の一部を委託します。同社は、アリアンツ・グローバル・インベスターズ・グループの米国拠点であるアリアンツ・グローバル・インベスターズU.S.LLCの100%子会社です。

**■ ファンドの仕組み**

本ファンドの運用は、ファミリーファンド方式で行います。

ファミリーファンド方式とは、投資者の皆様からお預かりした資金をまとめてベビーファンド（本ファンド）とし、その資金を主としてマザーファンド受益証券に投資して、実質的な運用をマザーファンドで行う仕組みです。



※資金動向、市況動向、投資対象国の政治や経済情勢の変動、当該諸国の法規制等の変更、その他の要因等によっては、上記のような運用ができない場合があります。

## ファンドの特色

### 本ファンドの運用プロセス

投資対象銘柄ユニバース 約400~600銘柄

スクリーニング ●

高配当で、かつバリュエーションが割安と判断される企業を選別

■スクリーニングのポイント

- ・配当利回り ・バリュエーションによるランキング ・流動性
- ・株価モメンタム、等

投資対象銘柄ユニバースの絞り込み

ファンダメンタルズ調査 ●

財務分析によるファンダメンタルズ調査と組入れ候補銘柄のリスクの検証

■調査のポイント

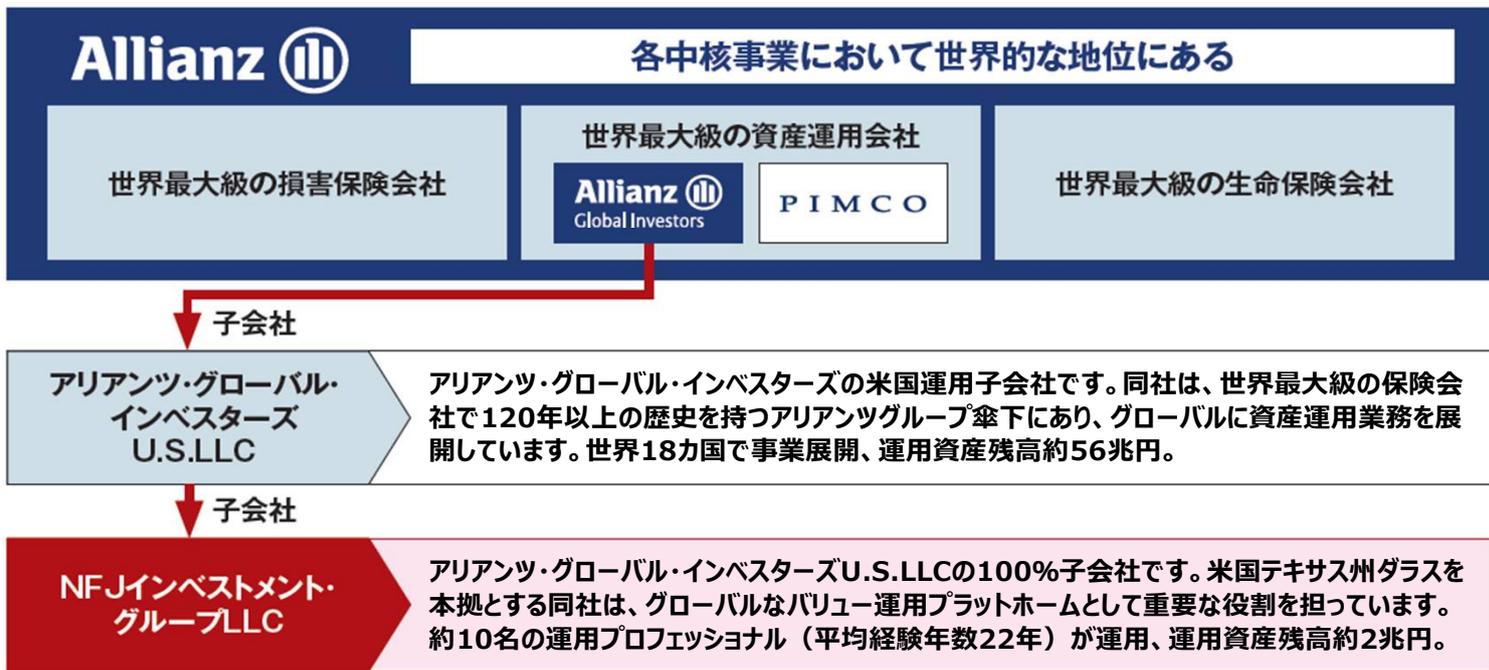
- ・バランスシート ・キャッシュフロー ・利益と配当の質、等

ポートフォリオ構築 約100銘柄程度

※上記運用プロセスは、今後変更となる場合があります。

### マザーファンドの実質的な運用を行う「NFJインベストメント・グループLLC」について

NFJインベストメント・グループLLCは、アリアンツ・グローバル・インベスターズU.S.LLCの100%子会社です。また、アリアンツ・グローバル・インベスターズU.S.LLCは、アリアンツ・グローバル・インベスターズの米国運用子会社です。



2016年9月末時点（運用資産残高は、1米ドル101.265円で換算）

### お知らせ

今般、本ファンドが投資対象とする「米国中小型割安株・マザーファンド」の運用再委託先であるNFJインベストメント・グループLLCは、2017年7月1日付で同社親会社であるアリアンツ・グローバル・インベスターズ U.S. LLCと統合いたしました。なお、統合により同マザーファンドの運用再委託先は従来の「NFJインベストメント・グループLLC」から「アリアンツ・グローバル・インベスターズ U.S. LLC」に変更となりますが、運用の基本方針、実質的な運用体制等に変更はありません。

○ 当資料は、SBIアセットマネジメント株式会社が信頼できると判断したデータに基づき作成されておりますが、その正確性、完全性について保証するものではありません。また、将来予告なく変更されることがあります。○ 当資料中のグラフ、数値等は作成時点のものであり、将来の傾向、数値等を予測するものではありません。○ 投資信託は値動きのある証券に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元本保証はありません。○ 投資信託の運用による損益はすべて受益者の皆様に帰属します。○ ご購入の際には必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認の上、お客様ご自身でご判断ください。

## 投資リスク

### 基準価額の変動要因

本ファンドは、マザーファンド受益証券を通じて主に米国株式に投資を行います。株式等値動きのある証券を投資対象としているため、基準価額は変動します。また、外貨建て資産には為替リスクもあります。したがって、投資者の皆様は投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割込むことがあります。信託財産に生じた利益及び損失は、全て投資者に帰属します。また、投資信託は預貯金と異なります。本ファンドの基準価額の変動要因は以下の通りです。なお、基準価額の変動要因は以下に限定されるものではありません。

### 主な変動要因

株価変動リスク	一般に、株式の価格は個々の企業の活動や業績、国内外の経済・政治情勢、市場環境・需給等を反映して変動します。本ファンドはその影響により株式の価格が変動した場合、基準価額は影響を受け損失を被ることがあります。特に投資する中小型株式等の価格変動は、株式市場全体の平均に比べて大きくなる傾向があり、基準価額にも大きな影響を与える場合があります。
為替変動リスク	外貨建資産への投資については、為替変動による影響を受けます。本ファンドが保有する外貨建資産の価格が現地通貨ベースで上昇する場合であっても、当該現地通貨が対円で下落(円高)する場合、円ベースでの評価額は下落することがあります。為替の変動(円高)は、本ファンドの基準価額を下げる要因となります。
信用リスク	投資した株式について、発行者の経営・財務状況の変化及びそれらに関する外部評価の変化を含む信用状況等の悪化は価格下落要因のひとつであり、これにより本ファンドの基準価額が影響を受け損失を被ることがあります。
流動性リスク	株式を売却あるいは取得しようとする際に、市場に十分な需要や供給がない場合や取引規制等により十分な流動性の下での取引を行えない、または取引が不可能となるリスクのことを流動性リスクといい、本ファンドはそのリスクを伴います。例えば、組み入れている株式の売却を十分な流動性の下で行えないときは、市場実勢から期待される価格で売却できない可能性があります。この場合、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。

※基準価額の変動要因は上記に限定されるものではありません。

### その他の留意点

- 本ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリング・オフ)の適用はありません。
- 投資信託は預金や保険契約と異なり、預金保険機構、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。
- 銀行など登録金融機関でご購入いただく投資信託は投資者保護基金の支払対象ではありません。
- 収益分配金の水準は、必ずしも計算期間における本ファンドの収益の水準を示すものではありません。収益分配は、計算期間に生じた収益を超えて行われる場合があります。
- 投資者の購入価額によっては、収益分配金の一部または全部が、実質的な元本の一部払戻しに相当する場合があります。
- 収益分配金の支払いは、信託財産から行われます。したがって純資産総額の減少、基準価額の下落要因となります。

### リスクの管理体制

委託会社では、ファンドのパフォーマンスの分析及び運用リスクの管理をリスク管理関連の各種委員会を設けて行っています。なお、デリバティブ取引については、社内規則に基づいて投資方針に則った運用が行われているか日々モニタリングを行っています。

<ご購入の際は、必ず投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。>

### 委託会社、その他関係法人

委託会社 SBIアセットマネジメント株式会社 (信託財産の運用指図、投資信託説明書(目論見書)及び運用報告書の作成等を行います。)

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第311号 加入協会/一般社団法人投資信託協会 一般社団法人日本投資顧問業協会

受託会社 三菱UFJ信託銀行株式会社 (ファンド財産の保管・管理等を行います。)

販売会社 ※最終頁をご参照ください。(受益権の募集・販売の取扱い、及びこれらに付随する業務を行います。)

○ 当資料は、SBIアセットマネジメント株式会社が信頼できると判断したデータに基づき作成されておりますが、その正確性、完全性について保証するものではありません。また、将来予告なく変更されることがあります。○ 当資料中のグラフ、数値等は作成時点のものであり、将来の傾向、数値等を予測するものではありません。○ 投資信託は値動きのある証券に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元本保証はありません。○ 投資信託の運用による損益はすべて受益者の皆様に帰属します。○ ご購入の際には必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認の上、お客様ご自身でご判断ください。

### お 申 込 メ モ

購 入 単 位	販売会社がそれぞれ定める単位とします。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
購 入 価 額	購入申込受付日の基準価額 (ファンドの基準価額は1万口当たりで表示しています。)
購 入 代 金	販売会社が定める期日までにお支払いください。
換 金 単 位	販売会社がそれぞれ定める単位とします。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
換 金 価 額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額から信託財産留保額を差引いた価額となります。
換 金 代 金	原則として、換金申込受付日から起算して5営業日目からお支払いいたします。
購入・換金申込 受付不可日	ニューヨークの証券取引所またはニューヨークの商業銀行のいずれかの休業日の場合には、購入・換金の受付を行いません。
申 込 締 切 時 間	原則として午後3時までに販売会社が受付けた分を当日のお申込みとします。 なお、受付時間を過ぎてからのお申込みは翌営業日の受付分として取扱います。 ※受付時間は販売会社によって異なることありますのでご注意ください。
換 金 制 限	ファンドの資金管理を円滑に行うため、大口解約または換金の請求額が多額となる場合には制限を設ける場合があります。
購入・換金申込 受付の中止 及び取消し	金融商品取引所における取引の停止、その他やむを得ない事情等があるときは、購入・換金のお申込みの受付を中止すること、及び既に受付けた購入・換金のお申込みの受付を取消す場合があります。
信 託 期 間	無期限(設定日:平成29年3月3日(金))
繰 上 償 還	次の場合等には、信託期間を繰り上げて償還となる場合があります。 ・ 受益証券の口数が10億口を下回ることとなった場合 ・ ファンドを償還させることが受益者のために有利であると認めるとき ・ やむを得ない事情が発生したとき
決 算 日	毎年3月5日(休業日の場合は翌営業日)
収 益 分 配	毎決算時に収益分配方針に基づき分配を行います。 ※ 販売会社によっては、分配金の再投資コースを設けています。詳しくは販売会社までお問い合わせください。
課 税 関 係	課税上は、株式投資信託として取扱われます。 公募株式投資信託は税法上、少額投資非課税制度及び未成年者少額投資非課税制度の適用対象です。 配当控除、益金不算入制度の適用はありません。 ※税制が改正された場合には変更となる場合があります。

※詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

### フ ァ ン ド の 費 用

#### 投資者が直接的に負担する費用

購 入 時 手 数 料	購入申込金額に3.24%(税抜:3.0%)を上限として販売会社が定める手数料率を乗じて得た金額とします。 詳細は販売会社にお問い合わせください。
信託財産留保額	換金申込受付日の基準価額に0.3%を乗じて得た額とします。

#### 投資者が間接的に負担する費用

運 用 管 理 費 用 ( 信 託 報 酬 )	ファンドの日々の純資産総額に年1.9332%(税抜:年1.79%)を乗じて得た金額とします。運用管理費用(信託報酬)の配分は下記の通りとします。なお、当該報酬は、毎計算期間の最初の6カ月終了日(休業日の場合は翌営業日)及び毎計算期末または信託終了のときファンドから支払われます。						
	内 訳	<table border="1"> <tr> <td>委 託 会 社</td> <td>年1.1772% (税抜:年1.09%)</td> </tr> <tr> <td>販 売 会 社</td> <td>年0.7128% (税抜:年0.66%)</td> </tr> <tr> <td>受 託 会 社</td> <td>年0.0432% (税抜:年0.04%)</td> </tr> </table> <p>委託会社の報酬には、マザーファンドの運用指図に関する権限の一部の委託先への報酬(年0.69%)が含まれています。</p>	委 託 会 社	年1.1772% (税抜:年1.09%)	販 売 会 社	年0.7128% (税抜:年0.66%)	受 託 会 社
委 託 会 社	年1.1772% (税抜:年1.09%)						
販 売 会 社	年0.7128% (税抜:年0.66%)						
受 託 会 社	年0.0432% (税抜:年0.04%)						
そ の 他 の 費 用 及 び 手 数 料	ファンドの監査費用、有価証券売買時の売買手数料、信託事務の諸費用、目論見書・有価証券届出書・有価証券報告書・運用報告書作成などの開示資料の作成、印刷にかかる費用及びこれらに対する税金をファンドより間接的にご負担いただきます。監査費用を除き運用状況などにより変動するものであり、事前に料率、上限額などを示すことができません。						

※投資者の皆様にご負担いただく手数料等の合計額については、ファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

**【販売会社情報一覧表】**

金融商品取引業者名		登録番号	加入協会			
			日本証券業協会	一般社団法人 金融先物取引業協会	一般社団法人 日本投資顧問業協会	一般社団法人 第二種金融商品 取引業協会
株式会社SBI証券	金融商品取引業者	関東財務局長 (金商)第44号	○	○		○
高木証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長 (金商)第20号	○			
楽天証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長 (金商)第195号	○	○	○	○
マネックス証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長 (金商)第165号	○	○	○	

■販売会社では、受益権の募集・販売の取扱い、及びこれらに付随する業務を行います。

ファンドのご購入の際は、販売会社より投資信託説明書(交付目論見書)をあらかじめ、または同時にお渡しますので、必ず内容をご確認のうえ、ご自身でご判断ください。